

第4回笹川スポーツ財団(SSF)スポーツアカデミー

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成

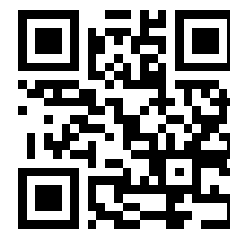
観戦者として ラグビーワールドカップ2019の日程を検証する

2017年11月24日

大妻女子大学

井上 俊也

toshiya.inoue@otsuma.ac.jp



全体の流れ

1. はじめに
2. ラグビーワールドカップとは
3. ラグビーワールドカップ2015イングランド大会の日程検証
4. ラグビーワールドカップ2019日本大会の日程検証(1)
開催国日本の競技・収益の観点から
5. ラグビーワールドカップ2019日本大会の日程検証(2)
日本並びに各国の観戦者の観点から
 - 5-1. 日本人の現地観戦
 - 5-2. 日本人のテレビ観戦
 - 5-3. 外国人の現地観戦
 - 5-4. 観光立国・日本とラグビーワールドカップ
 - 5-5. 外国人のテレビ観戦
6. おわりに

1.はじめに

自己紹介

1961年愛媛県出身。

1984年慶應義塾大学経済学部を卒業、日本電信電話公社（現・日本電信電話株式会社）入社、仏国HEC卒業。

日本電信電話株式会社、NTTフランス、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、NTTコムウェア株式会社などNTTグループで26年間、主に営業、企画、国際業務に従事。

2010年大妻女子大学に入職。

現在、キャリア教育センター教授として正課外講座の「大妻マネジメントアカデミー」の企画・運営を担当。

フランス滞在中に彼の国のビジネスエリートが基幹産業だけではなく、スポーツや芸術など、あらゆる分野のマネジメントの中枢にすることに感銘、スポーツマネジメントを志して30年弱、2015年から早稲田大学スポーツナレッジ研究所招聘研究員。

この間、滞在中には日本、フランス、アメリカ、ドイツの4か国で

報告の概要

本報告は2019年に日本で行われるラグビーワールドカップの日程について競技者、運営者に加え、観戦者の視点から検証する。

ラグビーワールドカップは試合日程や試合会場など、実力と人気を併せ持つ有力国8か国(ニュージーランド、豪州、南アフリカ、イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、フランス)中心に運営、これら8か国のファンを重視した大会運営であった。有力国の試合は、競技面では試合間隔がほぼ均等で、マーケティング面では収容人員の多いスタジアムで、時差を考慮して自国のファンがテレビ観戦しやすい曜日と時間帯に行われてきた。

初めて有力国以外で開催される2019年日本大会において、開催国としての競技面(上位進出)、運営面(入場料収入の確保)だけではなく、国内外からスタジアムに足を運ぶ観戦者、国内外でのテレビでの観戦者にとって、利便性がある日程となっているかどうかを過去2大会と比較しつつ検証する。

2.ラグビーワールドカップとは

ラグビーワールドカップについて

オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ
世界三大スポーツイベント

1987年にスタート、4年ごとに開催
(夏季オリンピックの前年、サッカーワールドカップの翌年)

本大会には20か国が出場

20か国中12か国は前回大会の成績で予選免除
(予選ビジネスが成立しない)

5チームずつ4つの予選プール、上位2チームが決勝トーナメント
予選プール40試合＋決勝トーナメント8試合
(10試合×4プール) (3位決定戦含む)

シードは抽選時の世界ランキングで決定、開催国シードはなし

ラグビーワールドカップの特徴(日程面)

長期間(6週間強)にわたる開催
(オリンピック2週間強、サッカーワールドカップ4週間強)

競技の性格上、試合間隔はサッカーよりも長く、週末に多くの試合が開催される。

予選プールは5チームで形成、チーム数が奇数であるため、試合間隔の長短が生じる。

同一時刻に他の試合が行われることはない。
(すべての試合をライブでテレビ観戦が可能)
(得点方法が複雑であるため、スコアメイキングが難しい)

有力8か国の過去の戦績

	NZ	豪州	南ア	イングランド	スコットランド	ウェールズ	アイルランド	フランス
1987	優勝	4位	—	ベスト8	ベスト8	3位	ベスト8	準優勝
1991	3位	優勝	—	準優勝	4位	×	ベスト8	ベスト8
1995	準優勝	ベスト8	優勝	4位	ベスト8	×	ベスト8	3位
1999	4位	優勝	3位	ベスト8	ベスト8	ベスト8	×	準優勝
2003	3位	準優勝	ベスト8	優勝	ベスト8	ベスト8	ベスト8	4位
2007	ベスト8	ベスト8	優勝	準優勝	ベスト8	×	×	4位
2011	優勝	3位	ベスト8	ベスト8	×	4位	ベスト8	準優勝
2015	優勝	準優勝	3位	×	ベスト8	ベスト8	ベスト8	ベスト8

有力8か国は89%という高確率で決勝トーナメント進出

有力8か国を押さえて決勝トーナメント進出は4回のみ

西サモア(1991)、アルゼンチン(2007、2011)、フィジー(2007)

ラグビーワールドカップの特徴(ビジネス面)

開催国の支出

開催国からワールドラグビーに対して大会保証料を支払う

開催国は大会運営費を全額負担

開催国の収入

開催国の収入は入場料収入

テレビ放映権料、スポンサー収入は開催国の収入とならない

ドル箱スタジアム、ドル箱試合の存在

より多くの観客が動員できるスタジアムに人気チームを集中

同じグレードの試合であっても出場国、会場によって価格が異なる

有力国の自国でのテレビ視聴に配慮した日程の設定

3. ラグビーワールドカップ2015 イングランド大会の日程検証

2015年イングランド大会の事例

日程 2015年9月18日から10月31日

出場国

プールA

豪州
イングランド
ウェールズ
フィジー
ウルグアイ

プールB

南アフリカ
サモア
スコットランド
日本
米国

プールC

NZ
アルゼンチン
トンガ
ジョージア
ナミビア

プールD

フランス
アイルランド
イタリア
カナダ
ルーマニア

会場

国内12会場＋国外1会場

3. 2015年イングランド大会の開催会場(9月18日から10月31日)
国内12会場40試合＋国外1会場8試合

ロンドン	ウェンブリー	90,000
ロンドン	トウイッケナム	81,605
ロンドン	オリンピックスタジアム	54,000
ニューカッスル	セントジェームズパーク	52,409
マンチェスター	マンチェスターシティ	47,800
バーミンガム	ビラパーク	42,785
リーズ	エランドロード	37,914
レスター	レスターシティ	32,312
ブライトン	ファルマー	30,750
ミルトンケインズ	スタジアムmk	30,717
グロスター	キングスホルム	16,500
エクセター	サンディパーク	12,300
カーディフ	ミレニアム	74,500

モデルとなる日程(サッカーのアフリカネイションズカップ)

グループリーグはグループごとに1会場が設けられ、中3日で行われる。
最終戦のみ2試合同時に行い、1位シードのチームは3試合同一会場で試合。
グループで首位になれば、準々決勝は同一会場で試合。

		Group A		Group B		Group C		Group D	
		Libreville		Franceville		Oyem		Paul Gentil	
Date		第1試合	第2試合	第1試合	第2試合	第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
14-Jan	Sat	A1-A4	A2-A3						
15-Jan	Sun			B1-B4	B2-B3				
16-Jan	Mon					C1-C4	C2-C3		
17-Jan	Tue							D1-D4	D2-D3
18-Jan	Wed	A1-A2	A3-A4						
19-Jan	Thu			B1-B2	B3-B4				
20-Jan	Fri					C1-C2	C3-C4		
21-Jan	Sat							D1-D2	D3-D4
22-Jan	Sun	A1-A3	A2-A4						
23-Jan	Mon			B1-B3	B2-B4				
24-Jan	Tue					C1-C3	C2-C4		
25-Jan	Wed							D1-D3	D2-D4
26-Jan	Thu								
27-Jan	Fri								
28-Jan	Sat	QF(1A-2B)		QF(1B-2A)					
29-Jan	Sun					QF(1C-2D)		QF(1D-2C)	
30-Jan	Mon								
31-Jan	Tue								
1-Feb	Wed	SF							
2-Feb	Thu			SF					
3-Feb	Fri								
4-Feb	Sat							3rd F	
5-Feb	Sun	F							

中4日・1日2試合を機械的に設定した日程案 (東京六大学方式:6チーム中4チームが週末に中1週間または中2週間で試合)

中4日で各チーム4試合を行い、試合のない場合、中9日となる。
予選プール期間中にまったく試合のない日は4日間

Date	Pool A			Pool B			Pool C			Pool D		
	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし
18-Sep Fri	A3-A4	A1-A2	A5									
19-Sep Sat				B1-B2	B3-B4	B5						
20-Sep Sun							C1-C2	C3-C4	C5			
21-Sep Mon										D1-D2	D3-D4	D5
22-Sep Tue												
23-Sep Wed	A2-A4	A3-A5	A1									
24-Sep Thu				B2-B4	B3-B5	B1						
25-Sep Fri							C2-C4	C3-C5	C1			
26-Sep Sat										D2-D4	D3-D5	D1
27-Sep Sun												
28-Sep Mon	A1-A3	A4-A5	A2									
29-Sep Tue				B1-B3	B4-B5	B2						
30-Sep Wed							C1-C3	C4-C5	C2			
1-Oct Thu										D1-D3	D4-D5	D2
2-Oct Fri												
3-Oct Sat	A1-A4	A2-A5	A3									
4-Oct Sun				B1-B4	B2-B5	B3						
5-Oct Mon							C1-C4	C2-C5	C3			
6-Oct Tue										D1-D4	D2-D5	D3
7-Oct Wed												
8-Oct Thu	A1-A5	A2-A3	A4									
9-Oct Fri				B1-B5	B2-B3	B4						
10-Oct Sat							C1-C5	C2-C3	C4			
11-Oct Sun										D1-D5	D2-D3	D4

2015年イングランド大会の実際の日程

試合間隔は最短中3日、最長中9日

土日に試合が集中(40試合中25試合)

予選プール期間中にまったく試合のない日は6日間

Date	Pool A			Pool B			Pool C			Pool D		
	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし	第1試合	第2試合	試合なし
18-Sep Fri	A2-A4											
19-Sep Sat				B1-B4			C3-C4			D2-D4	D1-D3	
20-Sep Sun	A3-A5			B2-B5			C1-C2					
21-Sep Mon												
22-Sep Tue												
23-Sep Wed	A1-A4			B3-B4						D1-D5		
24-Sep Thu							C1-C5					
25-Sep Fri							C2-C4					
26-Sep Sat	A2-A3			B1-B2						D3-D4		
27-Sep Sun	A1-A5			B3-B5						D2-D5		
28-Sep Mon												
29-Sep Tue							C3-C5					
30-Sep Wed												
1-Oct Thu	A3-A4									D1-D4		
2-Oct Fri							C1-C4					
3-Oct Sat	A1-A2			B2-B4	B1-B3							
4-Oct Sun							C2-C3			D2-D3		
5-Oct Mon												
6-Oct Tue	A4-A5									D4-D5		
7-Oct Wed				B1-B5			C4-C5					
8-Oct Thu												
9-Oct Fri							C1-C3					
10-Oct Sat	A1-A3	A2-A5		B2-B3								
11-Oct Sun				B4-B5			C2-C5			D3-D5	D1-D2	

日別に並んだ大会スケジュール (イングランド大会:予選プール前半)

月日		対戦カード		時刻	会場
9月18日	金	イングランド	フィジー	20:00	トウイッケナム
9月19日	土	トンガ	ジョージア	12:00	グロスター
9月19日	土	アイルランド	カナダ	14:30	カーディフ
9月19日	土	南アフリカ	日本	16:45	ブライトン
9月19日	土	フランス	イタリア	20:00	トウイッケナム
9月20日	日	サモア	米国	12:00	ブライトン
9月20日	日	ウェールズ	ウルグアイ	14:30	カーディフ
9月20日	日	ニュージーランド	アルゼンチン	16:45	ウェンブリー
9月23日	水	スコットランド	日本	14:30	グロスター
9月23日	水	豪州	フィジー	16:45	カーディフ
9月23日	水	フランス	ルーマニア	20:00	オリンピック
9月24日	木	ニュージーランド	ナミビア	20:00	オリンピック
9月25日	金	アルゼンチン	ジョージア	16:45	グロスター
9月26日	土	イタリア	カナダ	14:30	リーズ
9月26日	土	南アフリカ	サモア	16:45	バーミンガム
9月26日	土	イングランド	ウェールズ	20:00	トウイッケナム
9月27日	日	豪州	ウルグアイ	12:00	バーミンガム
9月27日	日	スコットランド	米国	14:30	リーズ
9月27日	日	アイルランド	ルーマニア	16:45	ウェンブリー
9月29日	火	トンガ	ナミビア	16:45	エクセター

日本でテレビ観戦する場合の 日本戦のスケジュール

月日	曜日	時刻	対戦相手
9月20日	日	0:45	南アフリカ
9月23日	水	22:30	スコットランド
10月3日	土	22:30	サモア
10月12日	月	4:00	米国

現地で観戦する場合の 日本戦のスケジュール

月日	曜日	時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	16:45	南アフリカ	ブライトン	30,750
9月23日	水	14:30	スコットランド	グロスター	16,500
10月3日	土	14:30	サモア	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	20:00	米国	グロスター	16,500

2011年大会から2015年大会の出場国と開催国との時差 (10月末までのサマータイム、複数時差のある場合は首都の時差)

2011年大会から2015年大会の出場国	2011年 ニュージーランド	2015年 イングランド	2019年 日本
サモア、トンガ	+1時間	+12時間	+4時間
フィジー、ニュージーランド	±0時間	+11時間	+3時間
	-1時間	+10時間	+2時間
豪州	-2時間	+9時間	+1時間
日本	-3時間	+8時間	±0時間
	-4時間	+7時間	-1時間
	-5時間	+6時間	-2時間
	-6時間	+5時間	-3時間
	-7時間	+4時間	-4時間
ジョージア	-8時間	+3時間	-5時間
ロシア、ルーマニア	-9時間	+2時間	-6時間
フランス、イタリア、南アフリカ	-10時間	+1時間	-7時間
イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、ナミビア	-11時間	±0時間	-8時間
	-12時間	-1時間	-9時間
	-13時間	-2時間	-10時間
	-14時間	-3時間	-11時間
アルゼンチン、ウルグアイ	-15時間	-4時間	-12時間
米国、カナダ	-16時間	-5時間	-13時間

2015年イングランド大会の事例

開催国イングランド

4試合中3試合はメインの聖地トウイッケナムで試合
ウルグアイ戦のみマンチェスターで開催
金曜の夜に1試合、土曜の夜に3試合開催
試合間隔はほぼ1週間

月日	曜日	時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月18日	金	20:00	フィジー	トウイッケナム	81,605
9月26日	土	20:00	ウェールズ	トウイッケナム	81,605
10月3日	土	20:00	豪州	トウイッケナム	81,605
10月10日	土	20:00	ウルグアイ	マンチェスター	47,800

時差の少ない欧州・南アフリカの有力国
週末を中心に巨大スタジアム中心に開催
アイルランド以外は中3日、中4日の試合あり

フランス(+1時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	イタリア	トゥイッケナム	81,605
9月23日	水	21:00	ルーマニア	オリンピック	54,000
10月1日	木	21:00	カナダ	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	17:45	アイルランド	カーディフ	74,500

ウェールズ(±0時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	14:30	ウルグアイ	カーディフ	74,500
9月26日	土	20:00	イングランド	トゥイッケナム	81,605
10月1日	木	16:45	フィジー	カーディフ	74,500
10月10日	土	16:45	豪州	トゥイッケナム	81,605

スコットランド(±0時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	14:30	日本	グロスター	16,500
9月27日	日	14:30	米国	リーズ	37,914
10月3日	土	16:45	南アフリカ	ニューカッスル	52,409
10月10日	土	14:30	サモア	ニューカッスル	52,409

アイルランド(±0時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	14:30	カナダ	カーディフ	74,500
9月27日	日	16:45	ルーマニア	ウェンブリー	90,000
10月4日	日	16:45	イタリア	オリンピック	54,000
10月11日	日	16:45	フランス	カーディフ	74,500

南アフリカ(+1時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	17:45	日本	ブライトン	30,750
9月26日	土	17:45	サモア	バーミンガム	42,785
10月3日	土	17:45	スコットランド	ニューカッスル	52,409
10月7日	水	17:45	米国	オリンピック	54,000

有力国以外の時差の少ない欧州・南アフリカの出場国

イタリアは試合間隔はほぼ1週間で週末のみ

それ以外の国は中3日、中4日の日程もあり、週末の試合は少ない

イタリア(+1時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	フランス	トゥイッケナム	81,605
9月26日	土	15:30	カナダ	リーズ	37,914
10月4日	日	17:45	アイルランド	オリンピック	54,000
10月11日	日	15:30	ルーマニア	エクセター	12,300

ジョージア(+3時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	15:00	トンガ	グロスター	16,500
9月25日	金	19:45	アルゼンチン	グロスター	16,500
10月2日	金	23:00	ニュージーランド	カーディフ	74,500
10月7日	水	23:00	ナミビア	エクセター	12,300

ルーマニア(+2時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	22:00	フランス	オリンピック	54,000
9月27日	日	18:45	アイルランド	ウェンブリー	90,000
10月6日	火	18:45	カナダ	レスター	32,312
10月11日	日	16:30	イタリア	エクセター	12,300

ナミビア(±0時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月24日	木	20:00	ニュージーランド	オリンピック	54,000
9月29日	火	16:45	トンガ	エクセター	12,300
10月7日	水	20:00	ジョージア	エクセター	12,300
10月11日	日	12:00	アルゼンチン	レスター	32,312

豪州とニュージーランド

大規模スタジアム中心に試合

中3日の日程もあるが、週末中心に試合

豪州の欧州の有力国との試合は自国では深夜・早朝

豪州(+9時間)

ニュージーランド(+11時間)

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	木	1:45	フィジー	カーディフ	74,500
9月27日	日	21:00	ウルグアイ	バーミンガム	42,785
10月3日	日	5:00	イングランド	トウイッケナム	81,605
10月10日	日	1:45	ウェールズ	トウイッケナム	81,605

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	月	3:45	アルゼンチン	ウェンブリー	90,000
9月24日	金	7:00	ナミビア	オリンピック	54,000
10月2日	土	7:00	ジョージア	カーディフ	74,500
10月9日	土	7:00	トンガ	ニューカッスル	52,409

日本(+8時間)

小規模スタジアムのみでの試合

日本の祝日と2試合が重なる。2試合は夜間にテレビ観戦可能

月日	曜日	各国時刻	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	0:45	南アフリカ	ブライトン	30,750
9月23日	水	22:30	スコットランド	グロスター	16,500
10月3日	土	22:30	サモア	ミルトンキーンズ	30,717
10月12日	月	4:00	米国	グロスター	16,500

大規模な競技場で有力国の試合、決勝トーナメントを実施

Cat	都市名	競技場名	収容人員	主な用途	決勝トーナメント	予選プール
1	ロンドン	ウェンブリー	90,000	サッカーの代表戦 国内のサッカーの決勝		◎◎
	ロンドン	トウイッケナム	81,605	ラグビーの代表戦 国内のラグビーの決勝	5試合 (F SF SF QF QF)	●●●◎◎
	ロンドン	オリンピックスタジアム	56,000	2012年オリンピックのメイン会場	1試合 (3rd F)	◎◎◎◎
2	ニューカッスル	セントジェームズパーク	52,409	サッカー(1部)の本拠地		◎◎◎
	マンチェスター	マンチェスターシティ	47,800	サッカー(1部)の本拠地		●
	バーミンガム	ビラパーク	42,785	サッカー(1部)の本拠地		◎◎
	リーズ	エランドロード	37,914	サッカー(1部)の本拠地		◎○
	レスター	レスターシティ	32,312	サッカー(1部)の本拠地		○○○
3	ブライトン	ファルマー	30,750	サッカー(2部)の本拠地		◎○
	ミルトンキーンズ	スタジアムMK	30,717	サッカー(2部)の本拠地		◎○
	グロスター	キングスホルム	16,500	ラグビー(1部)の本拠地		◎○
	エクセター	サンディパーク	12,300	ラグビー(1部)の本拠地		○○○
1	カーディフ	ミレニアム	74,154	サッカー・ラグビーの代表戦 国内サッカー・ラグビーの決勝	2試合 (QF QF)	◎◎◎◎◎◎

F: 決勝 SF: 準決勝 ● 開催国の試合
 QF: 準々決勝 ◎ 有力国の試合
 3rd F: 3位決定戦 ○ それ以外の試合
 赤字: 日本の試合

出場国ごとのスタジアムの収容人数

国名	収容人数計
イングランド	292,615
スコットランド	159,232
ウェールズ	311,518
アイルランド	294,308
フランス	242,476
南アフリカ	181,944
ニュージーランド	272,563
豪州	280,149
日本	94,467
イタリア	187,819
ジョージア	119,454
ルーマニア	190,612
ナミビア	112,912
アルゼンチン	171,124
ウルグアイ	196,456
米国	141,164
カナダ	175,097
フィジー	260,630
トンガ	113,521
サモア	156,661

有力国は多くのファンがスタジアムで観戦可能

最多はウェールズ、開催国イングランドは3位

フィジー、ウルグアイが多いのは「死の組」に入ったため
(イングランド、ウェールズ、豪州と対戦)

有力国の中ではスコットランド、南アフリカが少ない
(他の3チームが人気のないチーム)

最下位は日本

最多のウェールズは最少の日本の3.3倍

有力国優先の大会運営

試合間隔と対戦相手

有力国は試合間隔がほぼ均等、中3日の場合は下位国と対戦する。

→リカバリーの必要な競技であり、コンディショニングに有利

→観戦者もテレビ観戦が習慣化

大規模な競技場

有力国の試合は「大規模な競技場」で行われる。

→入場料収入の増大

→有力国の試合を見たいというファンに対応

自国でのテレビ視聴者向けの試合日程

有力国の試合は現地だけではなく、時差を考慮した自国でのテレビ観戦にふさわしい曜日・時間に行われる。

→現地観戦者をはるかに上回る数のテレビ観戦者に対応

→放映権料ビジネスの促進

4. ラグビーワールドカップ^o2019 日本大会の日程検証(1)

開催国日本の
競技・収益の観点から

検証の前提

出場国を世界ランキングに応じて予想(カッコ内は予選中)

プールA	プールB	プールC	プールD
アイルランド④	NZ①	イングランド②	豪州③
スコットランド⑥	南アフリカ⑤	フランス⑧	ウェールズ⑦
日本⑪	イタリア⑭	アルゼンチン⑩	ジョージア⑫
(ルーマニア⑮)	(スペイン⑲)	トンガ⑬	フィジー⑨
(サモア⑯)	(ナミビア⑳)	米国⑰	(ウルグアイ⑱)

○内は11月2日(日程決定)時点の世界ランキング

検証の対象:

2019年大会に出場あるいは出場が予想されるチームで
過去2大会に連続出場した18チーム

4-1-1. 開催国として競技の観点から

日本の試合日程とその反応

月日	曜日	時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	金	19:45	(ルーマニア)	東京	49,970
9月28日	土	16:15	アイルランド	静岡	50,889
10月5日	土	19:30	(サモア)	豊田	45,000
10月13日	日	19:45	スコットランド	横浜	72,327

第1戦のルーマニアには今年の6月に勝った

第2戦のアイルランドには今年の6月に連敗した

第3戦のサモアにも前回イングランドで勝った

第4戦のスコットランド戦は2勝1敗同士の大一番

相手のスコットランドは中3日での日本戦

日本は中1週間の試合間隔、

東京→静岡→豊田→横浜と移動距離が短い

悲願のベスト8は見えた！

試合間隔

ほぼ1週間おき(中5日以上)の日程の国は下記の4か国のみ

日本(A 金、土、土、日)、ナミビア(B 日、土、日、日)

トンガ(C 日、土、日、日)、豪州(D 土、日、土、金)

それ以外の16か国は中3日、中4日の試合がある

中3日の試合が2回ある国

スコットランド 9月22日(アイルランド)→9月26日(サモア)

10月9日(ルーマニア)→10月13日(日本)

中3日・中4日の相手と2回試合のある国

日本 10月5日対戦のサモアは9月30日にスコットランドと対戦

10月13日対戦のスコットランドは10月9日にルーマニアと対戦

ウルグアイ

9月25日対戦のフィジーは9月21日に豪州と対戦

10月13日対戦のウェールズは10月9日にフィジーと対戦

スペイン 9月26日対戦のイタリアは9月22日にナミビアと対戦

10月8日対戦の南アフリカは10月4日にイタリアと対戦

移動距離 長い国と短い国に二極化

移動距離の長い国

豪州	2,275km (札幌→東京→大分→静岡)
トンガ	2,047km (札幌→東大阪→熊本→東大阪)
フランス	1,851km (東京→福岡→熊本→横浜)
ニュージーランド	1,815km (横浜→大分→東京→豊田)
米国	1,706km (神戸→福岡→熊谷→東大阪)
フィジー	1,579km (札幌→釜石→東大阪→大分)
イングランド	1,529km (札幌→神戸→東京→横浜)

移動距離の短い国

日本	488km (東京→静岡→豊田→横浜)
南アフリカ	634km (横浜→豊田→静岡→神戸)
ルーマニア	763km (東京→熊谷→神戸→静岡)
スコットランド	831km (横浜→神戸→静岡→横浜)
ナミビア	832km (東大阪→豊田→東京→釜石)
アルゼンチン	842km (東京→東大阪→東京→熊谷)
ジョージア	870km (豊田→熊谷→東大阪→静岡)
アイルランド	876km (横浜→静岡→神戸→福岡)

4-1-2. 開催国として収益の観点から

2015年イングランド大会を継承する形で会場を3つにランク分け

カテゴリー1では有力国同士の試合

開催国はカテゴリー1の2会場とカテゴリー2の中の収容人員の大きな2会場

決勝トーナメントはカテゴリー1の2会場とカテゴリー2の1会場

ラグビースタジアムでは有力国以外の試合

Cat.	都市名	競技場名	収容人員	主な用途	決勝トーナメント	予選プール
1	横浜	横浜国際総合競技場	72,327	サッカー(1部)の本拠地	3試合(F, SF, SF)	●◎◎◎
	東京	東京スタジアム	49,970	サッカー(1部)の本拠地	3試合(3rdF, QF, QF)	●◎◎◎◎
2	静岡	小笠山総合運動公園エコパスタジアム	50,889	サッカー(2部)の本拠地		●◎◎◎
	豊田	豊田スタジアム	45,000	サッカー(1部)の本拠地		●◎◎◎
	札幌	札幌ドーム	41,410	サッカー(2部)、プロ野球の本拠地		◎◎
	大分	大分スポーツ公園総合競技場	40,000	サッカー(2部)の本拠地	2試合(QF, QF)	◎◎◎
	熊本	熊本県民総合運動公園陸上競技場	32,000	サッカー(2部)の本拠地		◎◎
	神戸	神戸市御崎公園球技場	30,312	サッカー(1部)の本拠地		◎◎◎◎
3	福岡	東平尾公園博多の森球技場	22,563	サッカー(2部)の本拠地		◎◎◎
	東大阪	花園ラグビー場	30,000	ラグビースタジアム		○◎◎◎
	熊谷	熊谷ラグビー場	24,000	ラグビースタジアム		○◎◎
	釜石	鶴住居復興スタジアム(仮称)	16,187	未完成		○○

F : 決勝 SF : 準決勝 QF : 準々決勝 3rdF : 3位決定戦

●開催国の試合
◎有力国の試合
○それ以外の試合

試合間隔と移動距離の関係

短距離移動(100km以下)は80ケース中5ケースしかない:

5ケース中4ケースは中3日の試合

ウェールズが大分(フィジー)から熊本(ウルグアイ)へ移動

フランスが福岡(米国)から熊本(トンガ)へ移動

ルーマニアが東京(日本)から熊谷(サモア)へ移動

アルゼンチンが東京(イングランド)から熊谷(米国)へ移動

5ケース中1ケースが中1週間の試合

イングランドが東京(アルゼンチン)から横浜(フランス)へ移動

しかし、多くの中3日の試合が400km以上の長距離移動

イングランドが札幌(トンガ)から神戸(米国)へ移動

スコットランドが横浜(アイルランド)から神戸(サモア)へ移動

ニュージーランドが大分(スペイン)から東京(ナミビア)へ移動

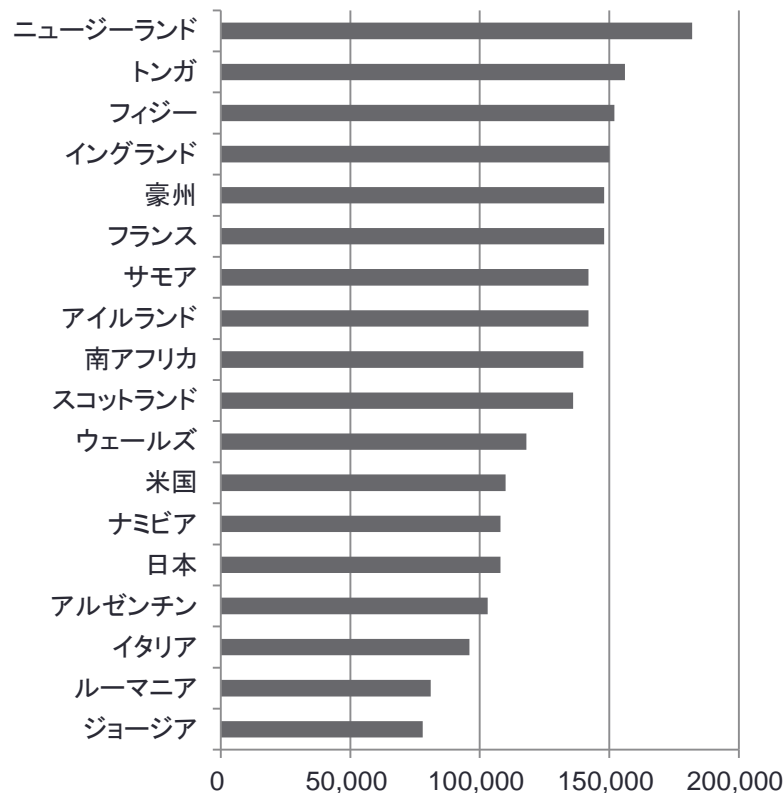
イタリアが東大阪(ナミビア)から福岡(スペイン)へ移動

ジョージアが熊谷(ウルグアイ)から東大阪(フィジー)へ移動

米国が熊谷(アルゼンチン)から東大阪(トンガ)へ移動

フィジーが札幌(豪州)から釜石(ウルグアイ)へ移動

2011年ニュージーランド大会の出場国別のスタジアムの収容人数の総計

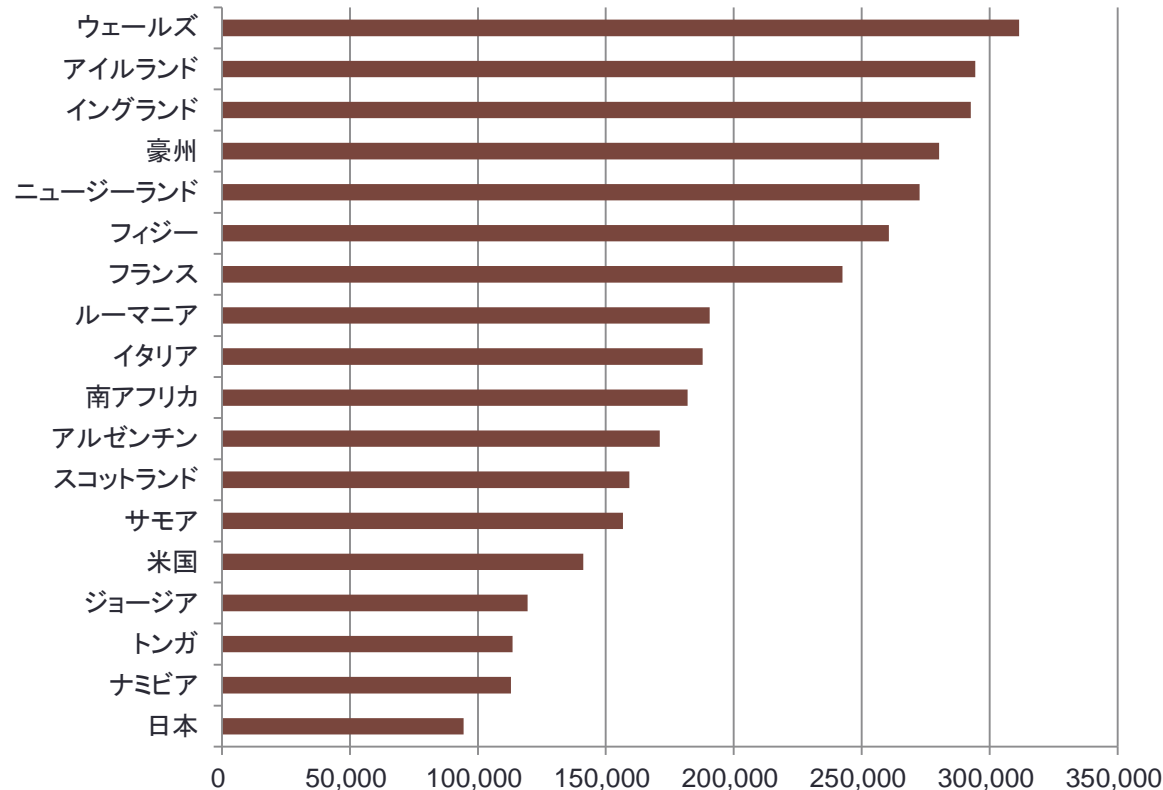


開催国ニュージーランドがトップ

上位に太平洋の3島国、有力国の8か国で上位11位を占める

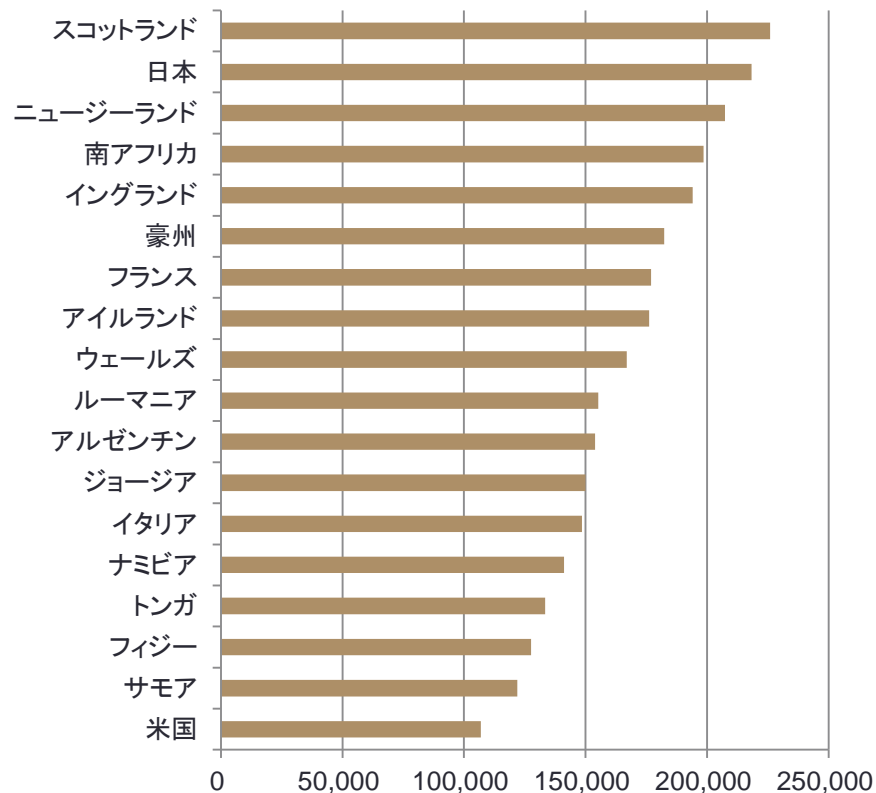
下位には欧州の非有力国、米大陸、アジア、アフリカ

2015年イングランド大会の出場国別のスタジアムの収容人数の総計



ウェールズ、アイルランドの順で開催国イングランドは3位
有力国でも中位以下の国(南アフリカ、スコットランド)がある一方、
下位国でもフィジーは上位に入っている
トップと最下位の格差は大きく、3.3倍

2019年日本大会の出場国別のスタジアムの収容人数の総計



前回大会で下位だったスコットランドが首位、開催国日本が2位
開催国と有力国の8か国で上位9位を占める
下位には米国、太平洋の島国、アフリカ、欧州

ジャパンファースト

開催国として

競技面では

試合間隔(4チームしかない中1週間)

移動距離(参加20チームで最短、豪州のほぼ5分の1)

対戦相手の試合間隔(中3日、中4日で日本と対戦)

に恵まれ、日本の上位進出が期待できる。

収益面では

収容人員の大きな競技場で有力8か国ならびに開催国の試合を行うことにより、開催国として入場料収入を極大化できる。

競技面、収益面で開催国として成功確実のジャパンファースト

5. ラグビーワールドカップ^o2019 日本大会の日程検証(2)

日本並びに各国の
観戦者の観点から

観戦者の4分類

	日本人	外国人
現地観戦	日本戦以外も観戦 コアなファン以外も観戦 試合観戦＝非日常 試合と試合の間＝日常 <i>日常と非日常の切り替え ＝交通アクセス、宿泊の確保 日常に支障をきたさない</i>	日本に来訪して観戦 自国の試合は「必須」 日本に来ること自体が非日常 滞在期間全体が非日常 <i>交通アクセス、宿泊のストレス を少なくする 試合の間の非日常を観光に</i>
テレビ観戦	日本戦を中心に観戦 テレビ視聴＝国民的行事 試合観戦＝非日常 試合と試合の間＝日常 <i>日常と非日常の切り替え ＝現地観戦に比べて容易 日常に影響のない時間帯</i>	自国の試合を中心に観戦 時差のある中で観戦 試合観戦＝非日常 試合と試合の間＝日常 <i>自国観戦者は時差が存在 テレビ観戦にふさわしい時間帯 日常に影響のない時間帯</i>

分析の枠組み

A.開催会場の分類分け: 12会場を3つの特性で分類

1.人口集積地からのアクセスの良い会場

(居住者のファンの観客動員を期待、平日夜間も試合可能)

横浜、東京、札幌、神戸、東大阪、福岡

2.宿泊施設の整っている会場

(非居住者、特に他国のファンの観客動員に対応)

横浜、東京、札幌、豊田、神戸、東大阪、福岡

3.観光誘引力のある会場(観光アクティベーション調査: JTB)

(非居住者、特に他国のファンの観客動員に期待)

札幌、東京、東大阪、福岡、横浜、神戸、熊本、大分

B.出場国との時差・出場国の祝日を考慮

5-1. 日本人の現地観戦：日本戦の場合

東京での金曜夜19時45分の試合

首都圏の観客は問題なし

首都圏以外の観客は首都圏で宿泊

静岡での土曜夕方16時15分の試合

夕方の試合なので終了後に東名阪に戻ることも可能
宿泊の場合は広域で対応

豊田での土曜夜19時30分の試合

名古屋圏の観客は問題なし

名古屋での宿泊により対応

横浜での日曜夜19時45分の試合

首都圏の観客は問題なし

首都圏以外の観客は首都圏で宿泊

日本人の現地観戦：日本戦以外も含めて

1-1.人口集積地からのアクセスの良い会場について

(横浜、東京、札幌、神戸、東大阪、福岡)

→神戸・福岡を除くと土日開催が中心

平日夜の開催を増やし、

アクセスの良くない会場での土日の試合を増やしてもよい

神戸：全試合は平日夜：関西圏の観客を動員

福岡：平日の2試合は夕方の試合、終了後に空路使用も可能

1-2. 上記以外の会場について

(静岡、豊田、大分、熊谷、熊本、釜石)

→豊田、熊本以外は平日開催が多く、集客に課題

広域の宿泊施設との連携が必要

来訪外国人に期待

2-1. 宿泊施設の整っている会場について

(横浜、東京、札幌、豊田、神戸、東大阪、福岡)

→夜の試合(試合後の宿泊)も開催可能であり、
夜間設備のない東大阪を除いて夜間中心の開催

2-2. 上記以外の会場について

(静岡、大分、熊谷、熊本、釜石)

→静岡、大分、熊本は夜間の試合が多く、宿泊は広域で対応
釜石も非居住者対応のためには広域での宿泊対応が必要

3-1. 観光誘引力のある会場について

(札幌、東京、東大阪、福岡、横浜、神戸、熊本、大分)

宿泊を伴う観戦者を会場近くの観光スポットに誘引
観光スポットをセールスポイントに宿泊付き観戦に誘引

3-2 .観光誘引力のない会場について

(釜石、熊谷、静岡、豊田)

ラグビーワールドカップを契機に観光スポットを開発

5-2. 日本人のテレビ観戦

日本戦:4試合とも週末の夕方から夜の試合

全体を通じて:

有力国・開催国の出場するの30試合のうち
28試合は土日あるいは平日の夜
2試合だけが平日の16時台に開始

有力国・開催国以外の10試合のうち
6試合は土日あるいは平日の夜
4試合が平日の昼間(12時台から16時台)に開催

有力国・開催国の出場する試合を中心に土日あるいは夜に開催

5-3. 外国人の現地観戦

来日ファンの多い有力国の観戦前後の宿泊施設に注目

宿泊の問題が少ない国

イングランド 札幌、神戸、東京、横浜

スコットランド 横浜、神戸、静岡(夕方)、横浜

アイルランド 横浜、静岡(夕方)、神戸、福岡

フランス 東京、福岡、熊本(夕方)、横浜

宿泊に問題が多い国

ウェールズ 豊田、東京、大分(夜)、熊本(夕方)

南アフリカ 横浜、豊田、静岡(夜)、神戸

ニュージーランド 横浜、大分(夜)、東京、豊田

豪州 札幌、東京、大分(昼)、静岡(夜)

ファンの多いイングランドは恵まれた宿泊環境を設定

5-4. 観光立国・日本とラグビーワールドカップ

有力国の予選プールでの動線

ゴールデンルートを通り、京阪神＋東京観光の期待できる国

イングランド	札幌、神戸、東京、横浜→大分
スコットランド	横浜、神戸、静岡、横浜→東京
アイルランド	横浜、静岡、神戸、福岡→東京
南アフリカ	横浜、豊田、静岡、神戸→東京

九州観光が期待できる国

フランス	東京、福岡、熊本、横浜→大分
ウェールズ	豊田、東京、大分、熊本→大分

日本周遊旅行が期待できる国

ニュージーランド	横浜、大分、東京、豊田→東京
豪州	札幌、東京、大分、静岡→大分

観光立国・日本とラグビーワールドカップ

首都圏での試合のない国

イタリア	東大阪、福岡、静岡、豊田
フィジー	札幌、釜石、東大阪、大分
トンガ	札幌、東大阪、熊本、東大阪

有力国・開催国以外は全て近畿圏(神戸か東大阪)で試合がある

有力国で近畿圏で試合のない国

フランス	東京、福岡、熊本、横浜
ウェールズ	豊田、東京、大分、熊本
ニュージーランド	横浜、大分、東京、豊田
豪州	札幌、東京、大分、静岡

観光ルートとしては面白味のない国

日本	東京、静岡、豊田、横浜
----	-------------

観光立国・日本とラグビーワールドカップ

中3日の功罪

競技面では課題となる中3日であるが、遠来のファンにとっては魅力的なスケジュール

2015年イングランド大会の日本ファン

中3日の「南アフリカ戦 & スコットランド戦ツアー」に集中

逆にホスト国としては滞在期間が短くなり、ビジネスチャンス逸失

有力国の中3日のケース

イングランド: トンガ(札幌)→米国(神戸)

スコットランド: ルーマニア(静岡)→日本(横浜)

ウェールズ: フィジー(大分)→ウルグアイ(熊本)

フランス: 米国(福岡)→トンガ(熊本)

南アフリカ: イタリア(静岡)→スペイン(神戸)

ニュージーランド: スペイン(大分)→ナミビア(東京)

アイルランド: 日本(静岡)→ルーマニア(神戸) (中4日)

5-5. 外国人のテレビ観戦

各国の現地時間(サマータイム)を勘案し、過去2大会と比較

2019年大会:日本(GMT+8)

2015年大会:イングランド(GMT±0)

2011年大会:ニュージーランド(GMT+11)

前回大会だけではなく時差の少ない前々回大会とも比較

■ 国別の過去2大会との比較

イングランド

米国戦が本国では平日の昼

過去2大会は全試合がテレビ観戦時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	11:15	トンガ	札幌	41,410	
9月26日	木	11:45	米国	神戸	30,312	1,071
10月5日	土	9:00	アルゼンチン	東京	49,970	428
10月12日	土	9:15	フランス	横浜	72,327	30
					194,019	1,529

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月18日	金	20:00	フィジー	トウイッケナム	81,605
9月26日	土	20:00	ウェールズ	トウイッケナム	81,605
10月3日	土	20:00	豪州	トウイッケナム	81,605
10月10日	土	20:00	ウルグアイ	マンチェスター	47,800
					292,615

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	日	9:30	アルゼンチン	ダニーデン	30,000
9月18日	日	7:00	ジョージア	ダニーデン	30,000
9月24日	土	7:00	ルーマニア	ダニーデン	30,000
10月1日	土	9:30	スコットランド	エデンパーク	60,000
					150,000

■ 国別の過去2大会との比較

スコットランド

ルーマニア戦が本国では平日の朝
過去2大会も好カードが平日の試合

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	11:15	アイルランド	横浜	72,327	
9月26日	木	11:15	(サモア)	神戸	30,312	413
10月9日	水	8:15	(ルーマニア)	静岡	50,889	293
10月13日	日	9:15	日本	横浜	72,327	125
					225,855	831

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	14:30	日本	グロスター	16,500
9月27日	日	14:30	米国	リーズ	37,914
10月3日	土	16:45	南アフリカ	ニューカッスル	52,409
10月10日	土	14:30	サモア	ニューカッスル	52,409
					159,232

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	2:00	ルーマニア	インバーカーギル	18,000
9月14日	水	8:30	ジョージア	インバーカーギル	18,000
9月25日	日	9:30	アルゼンチン	ウェリントン	40,000
10月1日	土	9:30	イングランド	エデンパーク	60,000
					136,000

■ 国別の過去2大会との比較

ウェールズ

ジョージア戦とフィジー戦が平日の午前中
過去2大会は1試合のみ平日の試合

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月23日	月	11:15	ジョージア	豊田	45,000	
9月29日	日	8:45	豪州	東京	49,970	244
10月9日	水	10:45	フィジー	大分	40,000	794
10月13日	日	9:15	(ウルグアイ)	熊本	32,000	95
					166,970	1,133

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	14:30	ウルグアイ	カーディフ	74,154
9月26日	土	20:00	イングランド	トウイッケナム	81,605
10月1日	木	16:45	フィジー	カーディフ	74,154
10月10日	土	16:45	豪州	トウイッケナム	81,605
					311,518

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	9:30	南アフリカ	ウェリントン	40,000
9月18日	日	4:30	サモア	ハミルトン	26,000
9月26日	月	8:30	ナミビア	ニュープリマス	26,000
10月2日	日	7:00	フィジー	ハミルトン	26,000
					118,000

■ 国別の過去2大会との比較

アイルランド

ルーマニア戦が平日の午前中

過去2大会は全試合がテレビ観戦時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	10:45	スコットランド	横浜	72,327	
9月28日	土	8:15	日本	静岡	50,889	125
10月3日	木	11:15	(ルーマニア)	神戸	30,312	293
10月12日	土	11:45	(サモア)	福岡	22,563	458
					176,091	876

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	14:30	カナダ	カーディフ	74,154
9月27日	日	16:45	ルーマニア	ウェンブリー	90,000
10月4日	日	16:45	イタリア	オリンピック	56,000
10月11日	日	16:45	フランス	カーディフ	74,154
					294,308

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	7:00	米国	ニュープリマス	26,000
9月17日	土	9:30	豪州	エデンパーク	60,000
9月25日	日	7:00	ロシア	ロトルア	26,000
10月2日	日	9:30	イタリア	ダニーデン	30,000
					142,000

■ 国別の過去2大会との比較

フランス

米国戦が平日の午前中

過去2大会は全試合がテレビ観戦時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	9:15	アルゼンチン	東京	49,970	
10月2日	水	9:45	米国	福岡	22,563	886
10月6日	日	9:45	トンガ	熊本	32,000	94
10月12日	土	10:15	イングランド	横浜	72,327	871
					176,860	1,851

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	イタリア	トウイッケナム	81,605
9月23日	水	21:00	ルーマニア	オリンピック	56,000
10月1日	木	21:00	カナダ	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	17:45	アイルランド	カーディフ	74,154
					242,476

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	8:00	日本	ノースハーバー	30,000
9月18日	日	10:30	カナダ	ネイピア	22,000
9月24日	土	10:30	ニュージーランド	エデンパーク	60,000
10月1日	土	8:00	トンガ	ウェリントン	36,000
					148,000

■ 国別の過去2大会との比較

南アフリカ

イタリア戦、スペイン戦が平日の昼間
2011年も2試合が平日の午前中の試合

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	11:45	ニュージーランド	横浜	72,327	
9月28日	土	11:45	(ナミビア)	豊田	45,000	229
10月4日	金	11:45	イタリア	静岡	50,889	112
10月8日	火	12:15	(スペイン)	神戸	30,312	293
					198,528	634

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	17:45	日本	ブライトン	30,750
9月26日	土	17:45	サモア	バーミンガム	42,785
10月3日	土	17:45	スコットランド	ニューカッスル	52,409
10月7日	水	17:45	米国	オリンピック	56,000
					181,944

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	10:30	ウェールズ	ウェリントン	40,000
9月17日	土	8:00	フィジー	ウェリントン	40,000
9月22日	木	10:00	ナミビア	ノースハーバー	30,000
9月30日	金	10:30	サモア	ノースハーバー	30,000
					140,000

■ 国別の過去2大会との比較

ニュージーランド

全試合がテレビ観戦時間帯

現地観戦組は首都圏と大分の往復

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	21:45	南アフリカ	横浜	72,327	
10月2日	水	22:15	(スペイン)	大分	40,000	777
10月6日	日	16:45	(ナミビア)	東京	49,970	794
10月12日	土	16:45	イタリア	豊田	45,000	244
					207,297	1,815

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月21日	月	3:45	アルゼンチン	ウェンブリー	90,000
9月25日	金	7:00	ナミビア	オリンピック	56,000
10月3日	土	7:00	ジョージア	カーディフ	74,154
10月10日	土	7:00	トンガ	ニューカッスル	52,409
					272,563

2011

月日	曜日	時間	対戦相手	会場	収容人数
9月9日	金	20:30	トンガ	エデンパーク	60,000
9月16日	金	20:00	日本	ハミルトン	26,000
9月24日	土	20:30	フランス	エデンパーク	60,000
10月2日	日	15:30	カナダ	ウェリントン	36,000
					182,000

■ 国別の過去2大会との比較

豪州

全4試合がテレビ観戦時間帯
現地観戦組は日本縦断ツアー

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	14:45	フィジー	札幌	41,410	
9月29日	日	17:45	ウェールズ	東京	49,970	828
10月5日	土	15:15	(ウルグアイ)	大分	40,000	794
10月11日	金	20:15	ジョージア	静岡	50,889	653
					182,269	2,275

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	木	1:45	フィジー	カーディフ	74,154
9月27日	日	21:00	ウルグアイ	バーミンガム	42,785
10月3日	日	5:00	イングランド	トウイッケナム	81,605
10月10日	日	1:45	ウェールズ	トウイッケナム	81,605
					280,149

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	15:30	イタリア	ノースハーバー	30,000
9月17日	土	20:30	アイルランド	エデンパーク	60,000
9月23日	金	20:30	米国	ウェリントン	40,000
10月1日	土	15:30	ロシア	ネルソン	18,000
					148,000

■ 国別の過去2大会との比較

日本

ゴールデンタイムのテレビの前からも大声援
有給を取らずに全試合観戦可能

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月20日	金	19:45	(ルーマニア)	東京	49,970	
9月28日	土	16:15	アイルランド	静岡	50,889	147
10月5日	土	19:30	(サモア)	豊田	45,000	112
10月13日	日	19:45	スコットランド	横浜	72,327	229
					218,186	488

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	0:45	南アフリカ	ブライトン	30,750
9月23日	水	22:30	スコットランド	グロスター	16,500
10月3日	土	22:30	サモア	ミルトンキーンズ	30,717
10月12日	月	4:00	米国	グロスター	16,500
					94,467

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	15:00	フランス	ノースハーバー	30,000
9月16日	金	17:00	ニュージーランド	ハミルトン	26,000
9月21日	水	16:30	トンガ	ファンガレイ	30,000
9月27日	火	14:00	カナダ	ネイピア	22,000
					108,000

■ 国別の過去2大会との比較

イタリア

6か国対抗のメンバーも2試合は平日の午前中
サッカーに代わるアズーリとなれるか？

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	7:15	(ナミビア)	東大阪	30,000	
9月26日	木	9:45	(スペイン)	福岡	22,563	494
10月4日	金	11:45	南アフリカ	静岡	50,889	750
10月12日	土	6:45	ニュージーランド	豊田	45,000	112
					148,452	1,356

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	21:00	フランス	トゥイッケナム	81,605
9月26日	土	15:30	カナダ	リーズ	37,914
10月4日	日	17:45	アイルランド	オリンピック	56,000
10月11日	日	15:30	ルーマニア	エクセター	12,300
					187,819

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	5:30	豪州	ノースハーバー	30,000
9月20日	火	9:30	ロシア	ネルソン	18,000
9月27日	火	9:30	米国	ネルソン	18,000
10月2日	日	8:30	アイルランド	ダニーデン	30,000
					96,000

■ 国別の過去2大会との比較

ジョージア

ラグビー人気は高いが、注目3試合が平日
ニュージーランド大会は2試合が平日

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月23日	月	14:15	ウェールズ	豊田	45,000	
9月29日	日	9:45	(ウルグアイ)	熊谷	24,000	234
10月3日	木	9:15	フィジー	東大阪	30,000	380
10月11日	金	14:15	豪州	静岡	50,889	256
					149,889	870

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	15:00	トンガ	グロスター	16,500
9月25日	金	19:45	アルゼンチン	グロスター	16,500
10月2日	金	23:00	ニュージーランド	カーディフ	74,154
10月7日	水	23:00	ナミビア	エクセター	12,300
					119,454

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月14日	水	11:30	スコットランド	インバーカーギル	18,000
9月18日	日	10:00	イングランド	ダニーデン	30,000
9月28日	水	11:30	ルーマニア	パーマストーンノース	15,000
10月2日	日	5:00	アルゼンチン	パーマストーンノース	15,000
					78,000

■ 国別の過去2大会との比較

ルーマニア

皆勤賞だが4試合とも平日日中の試合
過去2大会と比べるとテレビ観戦には不適

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月20日	金	13:45	日本	東京	49,970	
9月24日	火	13:15	(サモア)	熊谷	24,000	57
10月3日	木	13:15	アイルランド	神戸	30,312	413
10月9日	水	10:15	スコットランド	静岡	50,889	293
					155,171	763

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月23日	水	22:00	フランス	オリンピック	56,000
9月27日	日	18:45	アイルランド	ウェンブリー	90,000
10月6日	火	18:45	カナダ	レスター	32,312
10月11日	日	16:30	イタリア	エクセター	12,300
					190,612

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	4:00	スコットランド	インバーカーギル	18,000
9月17日	土	6:30	アルゼンチン	インバーカーギル	18,000
9月24日	土	9:00	イングランド	ダニーデン	30,000
9月28日	水	10:30	ジョージア	パーマストーン	15,000
					81,000

■ 国別の過去2大会との比較

ナミビア

全試合が土日だが、テレビ観戦はつらい時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	6:15	イタリア	東大阪	30,000	
9月28日	土	10:45	南アフリカ	豊田	45,000	149
10月6日	日	5:45	ニュージーランド	東京	49,970	244
10月13日	日	4:15	(スペイン)	釜石	16,187	439
					141,157	832

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月24日	木	20:00	ニュージーランド	オリンピック	56,000
9月29日	火	16:45	トンガ	エクセター	12,300
10月7日	水	20:00	ジョージア	エクセター	12,300
10月11日	日	12:00	アルゼンチン	レスター	32,312
					112,912

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	4:30	フィジー	ロトルア	26,000
9月14日	水	3:30	サモア	ロトルア	26,000
9月22日	木	9:00	南アフリカ	ノースハーバー	30,000
9月26日	月	8:30	ウェールズ	ニュープリマス	26,000
					108,000

■ 国別の過去2大会との比較

アルゼンチン

実力と人気が完全に反対

全試合がテレビ観戦には不適な時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	4:15	フランス	東京	49,970	
9月28日	土	1:45	トンガ	東大阪	30,000	393
10月5日	土	5:00	イングランド	東京	49,970	393
10月9日	水	1:45	米国	熊谷	24,000	57
					153,940	843

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	12:45	ニュージーランド	ウェンブリー	90,000
9月25日	金	12:45	ジョージア	グロスター	16,500
10月4日	日	10:30	トンガ	レスター	32,312
10月11日	日	8:00	ナミビア	レスター	32,312
					171,124

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	5:30	イングランド	ダニーデン	30,000
9月17日	土	0:30	ルーマニア	インバーカーギル	18,000
9月25日	日	5:30	スコットランド	ウェリントン	40,000
10月1日	土	22:00	ジョージア	パーマストーンノース	15,000
					103,000

■ 国別の過去2大会との比較

米国

アメリカファーストはどこに
小さな会場でテレビ観戦には不適な時間帯

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月26日	木	6:45	イングランド	神戸	30,312	
10月2日	水	3:45	フランス	福岡	22,563	458
10月9日	水	0:45	アルゼンチン	熊谷	24,000	868
10月13日	日	1:45	トンガ	東大阪	30,000	380
					106,875	1,706

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	月	7:00	サモア	ブライトン	30,750
9月27日	日	9:30	スコットランド	リーズ	37,914
10月7日	水	11:45	南アフリカ	オリンピック	56,000
10月11日	日	15:00	日本	グロスター	16,500
					141,164

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月11日	日	2:00	アイルランド	ニュープリマス	26,000
9月15日	木	1:30	ロシア	ニュープリマス	26,000
9月23日	金	4:30	豪州	ウェリントン	40,000
9月27日	火	3:30	米国	ネルソン	18,000
					110,000

■ 国別の過去2大会との比較

フィジー

3試合が平日だが、テレビ観戦に適した時間帯
現地観戦組は日本縦断ツアー

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月21日	土	16:45	豪州	札幌	41,410	
9月25日	水	17:15	(ウルグアイ)	釜石	16,187	422
10月3日	木	17:15	ジョージア	東大阪	30,000	756
10月9日	水	21:45	ウェールズ	大分	40,000	401
					127,597	1,579

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月19日	土	7:00	イングランド	トウイッケナム	81,605
9月24日	木	3:45	豪州	カーディフ	74,154
10月2日	金	3:45	ウェールズ	カーディフ	74,154
10月7日	水	7:00	ウルグアイ	ミルトンキーンズ	30,717
					260,630

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月10日	土	15:30	ナミビア	ロトルア	26,000
9月17日	土	18:00	南アフリカ	ウェリントン	40,000
9月25日	日	15:30	サモア	エデンパーク	60,000
10月2日	日	18:00	ウェールズ	ハミルトン	26,000
					152,000

■ 国別の過去2大会との比較

トンガ 全試合が土日 西の聖地・花園で2試合

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月22日	日	23:15	イングランド	札幌	41,410	
9月28日	土	17:45	アルゼンチン	東大阪	30,000	1,055
10月6日	日	20:45	フランス	熊本	32,000	496
10月13日	日	18:45	米国	東大阪	30,000	496
					133,410	2,047

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月20日	日	0:00	ジョージア	グロスター	16,500
9月30日	水	16:45	ナミビア	エクセター	12,300
10月5日	月	2:30	アルゼンチン	レスター	32,312
10月10日	土	8:00	ニュージーランド	ニューカッスル	52,409
					113,521

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月9日	金	21:30	ニュージーランド	エデンパーク	60,000
9月14日	水	18:00	カナダ	ファンガレイ	30,000
9月21日	水	20:30	日本	ファンガレイ	30,000
10月1日	土	19:00	フランス	ウェリントン	36,000
					156,000

■ 国別の過去2大会との比較

サモア

全試合が23時台にキックオフ

前回大会は全試合土日だがテレビ観戦には不適

2019

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数	移動距離
9月24日	火	23:15	ルーマニア	熊谷	24,000	
9月30日	月	23:15	スコットランド	神戸	30,312	413
10月5日	土	23:30	日本	豊田	45,000	188
10月12日	土	23:45	アイルランド	福岡	22,563	643
						1,244
						121,875

2015

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月21日	月	0:00	米国	ブライトン	30,750
9月27日	日	4:45	南アフリカ	バーミンガム	42,785
10月4日	日	2:30	日本	ミルトンキーンズ	30,717
10月11日	日	2:30	スコットランド	ニューカッスル	52,409
					156,661

2011

月日	曜日	各国時間	対戦相手	会場	収容人数
9月14日	水	15:30	ナミビア	ロトルア	26,000
9月18日	日	16:30	ウェールズ	ハミルトン	26,000
9月25日	日	16:30	フィジー	エデンパーク	60,000
9月30日	金	21:30	南アフリカ	ノースハーバー	30,000
					142,000

欧州並びにアフリカの有力国について

自国と時差の少なかったイングランド大会だけではなく、今回と時差の条件では近いニュージーランド大会に比べてもテレビ視聴環境は悪くなっている

特に過去2大会Invisible Matchのなかった市場の大きい3か国（イングランド、アイルランド、フランス）でInvisible Matchが生じた

オセアニアの有力国について

時差の少なかったニュージーランド大会とほぼ同条件でInvisible Matchはない

時差の大きかったイングランド大会から改善

特に豪州はイングランド大会は同組のイングランド、ウェールズの時間に合わせて試合が行われたため、大きく改善

6.おわりに

- 競技面・収益面でのジャパンファーストと日本
日本に有利な日程・会場の設定
有力国の試合を大規模スタジアムで固める
首都圏中心の運営、翌年のオリ・パラへの布石
→大会の国内での成功は確実
- 競技面・収益面でのジャパンファーストと他国
→これまで有力国が受けてきた競技面での恩恵が享受できない
中3日問題、過去2大会と比べて大きな移動の負担
- 有力国の自国でのテレビ視聴者に対する配慮
欧州の有力国では「平日昼」の試合が存在
- 「観光立国」として最初で最後のナショナルワイドのスポーツイベントに対する取り組みへの期待